

期待が膨らむ令和5年度へ

市政
横浜市会議員 伏見ゆきえ

ました。山中市長も「既存資源のさらなる活用を図る」と答弁しました。

令和5年度の予算特別委員会連合審査が3月14日に行われました。個人の判断が基本となるマスク着用についてや、子育て環境への新たな取組み、消防訓練センターの整備、町内会自治会など

多岐にわたり山中竹春市長に質問しました。

一時預かり事業の拡大

よいよ始まります。

戸塚区にある消防訓練センターは現状、十分に

他の政令指定都市では類を見ない、来年度から

り保育施設で24時間分の一時預かり保育を無料利用できるもので、気軽な預け先がない保護者にとって大きな助けになります。しかし、既に一時預かりを利用している保護者からは「定員に空きがなく利用できない」との声も上がります。券の配布でさらに枠がなくなることが懸念されます。

の新たな取組み「はじめ

整った環境ではありません。大訓練場の地面は地盤沈下により波打ち、排水機能も失われています。約50年にわたり消防学校と消防局の訓練施設として建物放水や多様な

資機材訓練を行ってきたため、劣化が著しく訓練中に職員らの転倒事故も起きています。

来年度からの総事業費

は約34億。実践的な消防訓練センターとして整備するなど、拡充策を提言されています。



伏見ゆきえ

2015年に横浜市会議員初当選。現在2期目。
連絡事務所 / 〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / ☎045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!